Information
No. 2014-3　Date 2014.1.20
BML

検査内容変更のお知らせ

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記の項目につきまして、検査内容・報告形式の変更及び検査の受託中止をさせていただくことになりましたのでご案内申し上げます。
先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

検査内容の変更　（☞ 2ページ）

依頼コードNo.	項目名
427	カルシウム（Ca）
103, 1003 102, 1002	ナトリウム（Na）-尿 クロール（Cl）-尿 カリウム（K）-尿
2490	リウマトイド因子（RF）定量
731	ASO定量（抗ストレプトリジン-O価定量）
3715→2056	抗核抗体（ANA）/EIA法
696→1577	抗ssDNA-IgG抗体定量
6703→2040	抗ミトコンドリアM2抗体定量
7436	フレカイニド
5147	HCV核酸定量（HCV-RNA定量/リアルタイムPCR法）
2735	HCVの群別
2910	PIVKA-Ⅱ定量
3041	フォン・ウィルブランド因子（VWF）活性

変 更 日　2014年3月31日（月）受付分より

依頼コードNo.	項目名
4633	CAPシングルアレルゲン-スズメバチ
4634	CAPシングルアレルゲン-アシナガバチ
6341	結核菌群抗原定性
4362	顆粒球スクリーニング検査（好中球貪食機能）
277→12155	HBV薬剤耐性変異解析
1217	P1NP（インタクト1型プロコラーゲン-N-プロペプチド）
342	アンチトロンビン活性
867	アンチトロンビン抗原
3046	プラスミノゲン活性
343	アンチプラスミン活性
448 120 449	浸透圧-血清 浸透圧-尿 浸透圧-透析液
検査案内参照	ファーマコゲノミクス検査（PGx検査）の取り扱いについて
2995	骨塩定量検査

検査の受託中止　（☞ 19ページ）

依頼コードNo.	項目名
3314	HbA1c 併記
53	沈渣 - 尿
2291	PTH-C（副甲状腺ホルモン-C末端）
2287	尿素呼気試験/GC-MS法（ユービット）
4149	CD8 × CD25
5085	CD4 × CD29
5790	CD3 × CD25
6287	CD26
6288	CD28
6290	CD44
6291	CD54
6293	CD117
6294	CD122
714	トキソプラズマ抗体半定量/PHA法

最終受託日　2014年3月29日（土）受付分まで

依頼コードNo.	項目名
4625	骨型 ALP/PAGE 法
702	RA テスト
292	リンパ球幼若化検査（PWM）
5606	HIV-1/HIV-2抗体鑑別試験
572	カロテン（カロチン）
554	ACCR（アミラーゼ・クレアチニンクリアランス比）
563	尿素クリアランス
2225	尿酸クリアランス
570	リン再吸収率試験
229	リゾチーム-糞便
6423	ヘリコバクター・ピロリ/PCR法
5728	コレステリルエステル転送蛋白（CETP）遺伝子 Taq1B多型
5675	IL-12 p40
3492	可溶性ELAM-1
1809	DNA抽出（少量）

容器の変更　（☞ 20ページ）

容器記号	容器名
B-28	ウイルス遺伝子検査用（血清）

変 更 日　2014年3月より順次変更

株式会社 ビー・エム・エル
本　　社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-21-3
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場 1361-1
☎ 049(232)3131　FAX 049(232)3132

電子カルテはビー・エム・エル
Qualis クオリス Medical Station

検査内容の変更

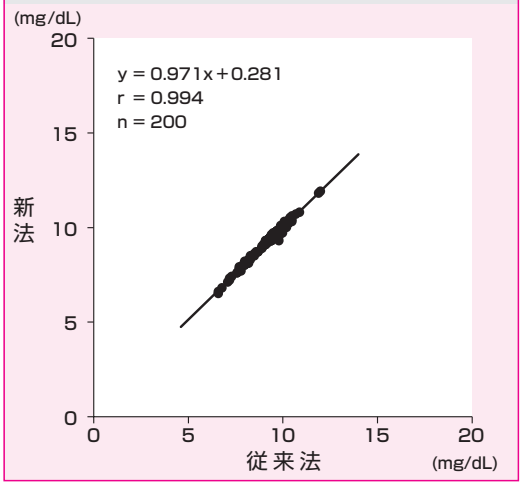
《変更日：2014年3月31日（月）受付分より変更》

● カルシウム（Ca）

測定精度の向上を期し、検査方法を変更させていただきます。
この変更に伴い、基準値を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	427	同左
検査項目名	カルシウム（Ca）	同左
統一コード	3H030-0000-023-271	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1～2	同左
検査方法	比色法（アルセナゾⅢ法）	比色法（OCPC法）
基準値	8.6～10.2	8.2～10.0
報告単位	mg/dL	同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料／判断料	11点／144点（生化学的検査（I））	同左

新法と従来法の相関



自社検討資料

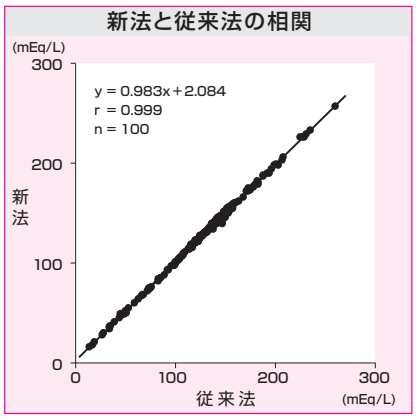
【参考文献】
木下良治：生物試料分析 28, 295-300, 2005.

● ナトリウム(Na)-尿、クロール(Cl)-尿、カリウム(K)-尿

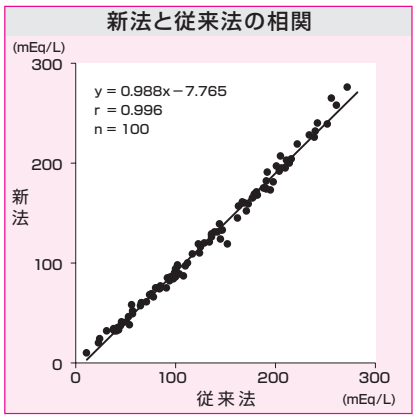
測定機器・試薬を従来法と同等の性能を有する機器・試薬に変更させていただきます。
なお、この変更に伴う検査方法、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo. 検査項目名	103、1003　ナトリウム(Na)-尿 クロール(Cl)-尿 102、1002　カリウム(K)-尿	同左
統一コード	3H010-0000-004-261 3H020-0000-004-261 3H015-0000-004-261	同左
検査材料	尿(蓄尿)	同左
検体必要量	1.0mL	同左
容器	U-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	電極法	同左
基準値	ナトリウム(Na)　174～348 mEq/day 4.0～8.0 g/day クロール(Cl)　169～338 mEq/day 6.0～12.0 g/day カリウム(K)　38～64 mEq/day 1.5～2.5 g/day	同左
報告単位	mEq/day, g/day	同左
報告桁数	mEq/day：整数 g/day：小数第1位	同左
検査実施料/判断料	11点／144点(生化学的検査(I))	同左

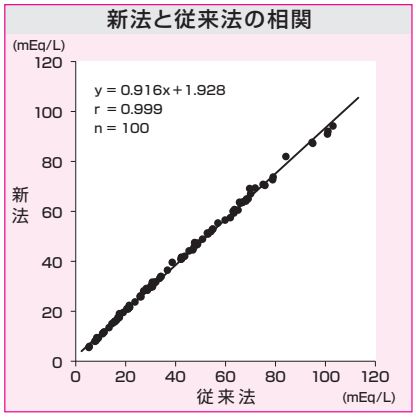
● ナトリウム(Na)-尿



● クロール(Cl)-尿



● カリウム(K)-尿



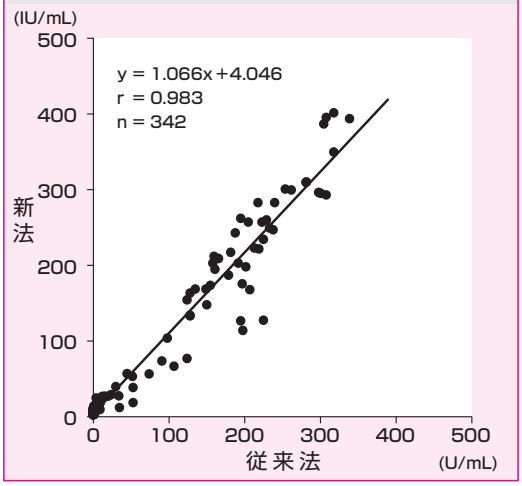
自社検討資料

● リウマトイド因子（RF）定量

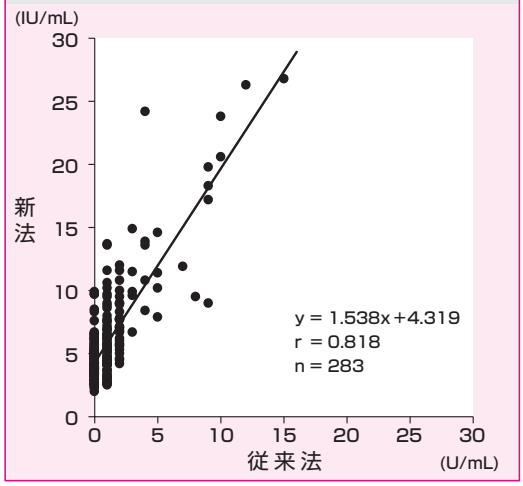
測定試薬をリウマトイド因子（RF）標準化のガイドラインに準拠した試薬に変更させていただきます。
なお、この変更に伴い、検査方法、報告単位を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	2490	同左
検査項目名	リウマトイド因子（RF）定量	同左
統一コード	5G160-0000-023-062	5G160-0000-023-061
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1～2	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	免疫比濁法
基準値	15以下	同左
報告単位	IU/mL	U/mL
報告桁数	整数	同左
検査実施料／判断料	30点／144点（免疫学的検査）	同左

新法と従来法の相関（全体）



新法と従来法の相関（15U/mL以下）



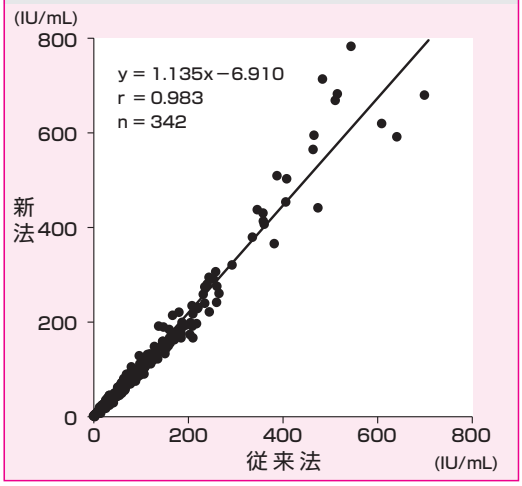
自社検討資料

● ASO定量

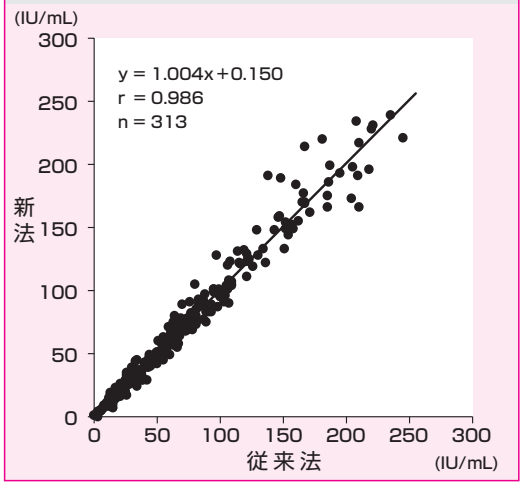
測定試薬を従来試薬と同等の性能を有する試薬に変更させていただきます。
なお、この変更に伴い、検査方法、基準値を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	731	同左
検査項目名	ASO定量	同左
統一コード	5E035-0000-023-062	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1～2	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	ラテックス免疫比濁法
基準値	240以下	成人 244以下
報告単位	IU/mL	同左
報告桁数	整数	同左
検査実施料 / 判断料	15点／144点（免疫学的検査）	同左

新法と従来法の相関（全体）



新法と従来法の相関（240IU/mL以下）



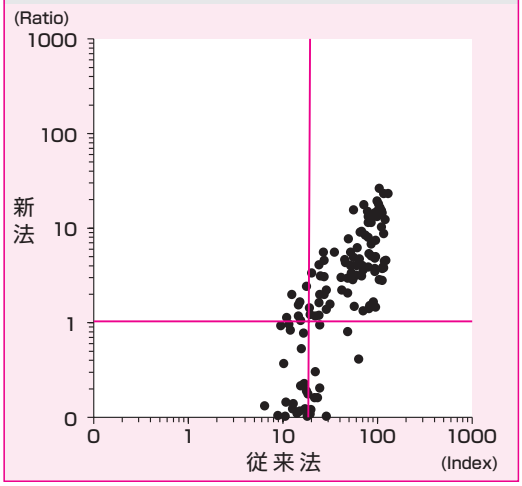
自社検討資料

● 抗核抗体/EIA法

測定精度の向上を期し、検査方法を変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼（報告）コードNo、検査項目名、検体必要量、所要日数、基準値、報告桁数を変更させていただきます。

	新	従来
依頼（報告）コードNo.	2056（親） （子）6667　判定 （子）6668　Ratio	3715
検査項目名	抗核抗体/FEIA	抗核抗体/EIA
統一コード	5G010-0000-023-023	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3 mL	0.2 mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	2～4
検査方法	FEIA法	EIA法
基準値（判定基準）	Ratio 1.00以下 （+）1.00を超える （−）1.00以下	Index 20.0未満
報告単位	なし	同左
報告桁数	小数第2位	小数第1位
検査実施料/判断料	110点／144点（免疫学的検査）	同左

新法と従来法の相関



		従来法		
		陰性	陽性	合計
新法	陽性	9	92	101
	陰性	32	10	42
合計		41	102	143

陽性一致率　90.2%
陰性一致率　78.0%
判定一致率　86.7%

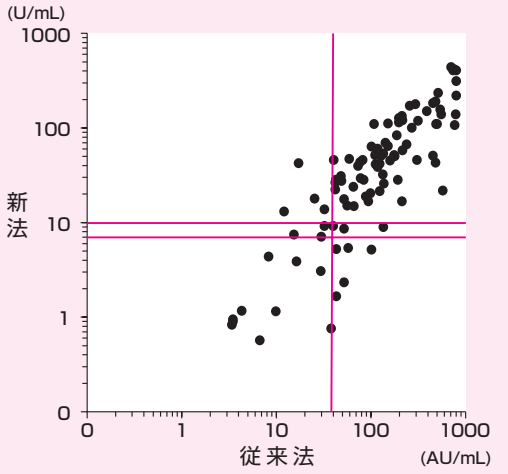
自社検討資料

● 抗ssDNA-IgG抗体定量

測定精度の向上を期し、検査方法を変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼（報告）コードNo、検体必要量、所要日数、基準値、報告単位を変更させていただきます。

	新	従来
依頼（報告）コードNo.	1577(親) (子)1581　判定 (子)1582　定量値	696
検査項目名	抗ssDNA-IgG抗体定量	同左
統一コード	5G026-0000-023-023	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3 mL	0.2 mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	3～4
検査方法	FEIA法	EIA法
基準値（判定基準）	7.0未満 (+) 10.0を超える (±) 7.0以上 10.0以下 (−) 7.0未満	40.0未満
報告単位	U/mL	AU/mL
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料 / 判断料	178点／144点（免疫学的検査）	同左

新法と従来法の相関



		従来法		
		陰性	陽性	合計
新法	陽性	4	72	76
	疑陽性	3	3	6
	陰性	13	5	18
合計		20	80	100

陽性一致率　90.0%
陰性一致率　65.0%
判定一致率　85.0%

自社検討資料

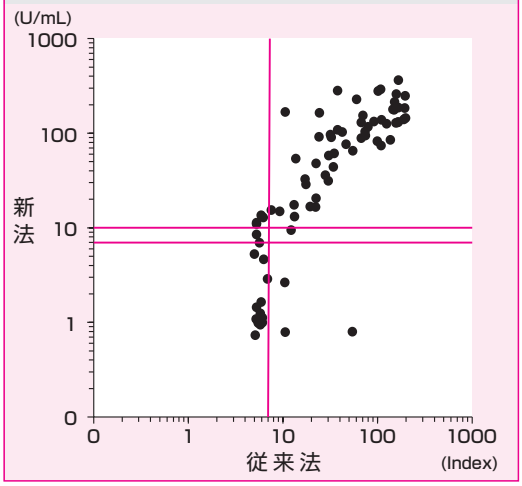
【参考文献】
平田 寛之 , 他 : 医学と薬学 69, 171-177, 2013.

● 抗ミトコンドリアM2抗体定量

測定精度の向上を期し、検査方法を変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼（報告）コードNo、検体必要量、所要日数、基準値、報告単位を変更させていただきます。

	新	従来
依頼（報告）コードNo.	2040（親） （子）2673　判定 （子）2674　定量値	6703
検査項目名	抗ミトコンドリアM2抗体定量	同左
統一コード	5G176-0000-023-023	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3 mL	0.2 mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	3～6
検査方法	FEIA法	EIA法
基準値（判定基準）	7.0 未満 （+）10.0 を超える （±）7.0 以上 10.0 以下 （−）7.0 未満	Index 7.0未満
報告単位	U/mL	なし
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料 / 判断料	206点／144点（免疫学的検査）	同左

新法と従来法の相関



		従来法		
		陰性	陽性	合計
新法	陽性	4	76	80
	疑陽性	1	1	2
	陰性	15	3	18
合計		20	80	100

陽性一致率　95.0%
陰性一致率　75.0%
判定一致率　91.0%

自社検討資料

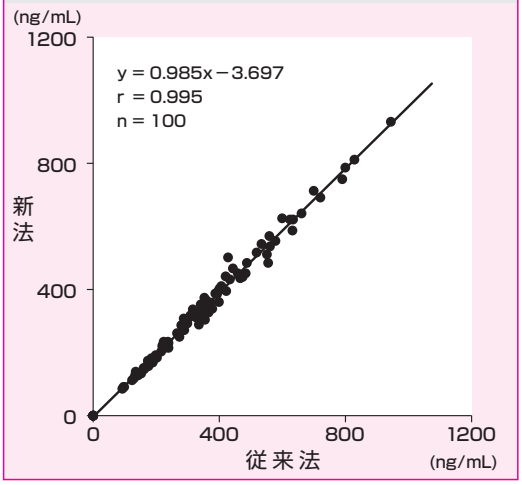
【参考文献】
平田寛之，他：医学と薬学 69, 541-547, 2013.

● フレカイニド

測定精度の向上を期し、検査方法を変更させていただきます。
なお、この変更に伴い、所要日数を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	7436	同左
検査項目名	フレカイニド	同左
統一コード	3L905-0000-023-210	3L905-0000-023-204
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-3→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	4～6	4～10
検査方法	LC-MS/MS法	HPLC法
基準値	治療有効濃度：200.0～1000.0	同左
報告単位	ng/mL	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点（特定薬剤治療管理料）	同左

新法と従来法の相関



自社検討資料

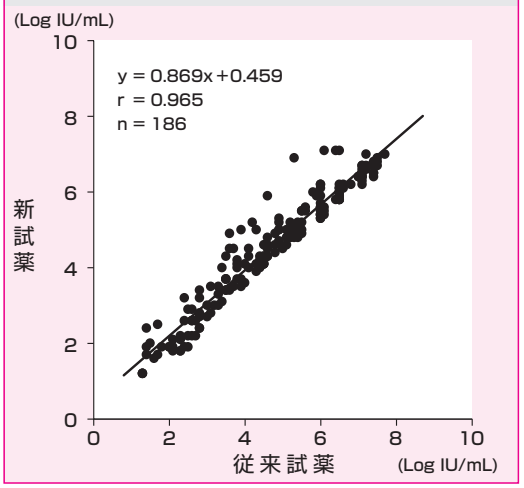
● HCV核酸定量（HCV-RNA定量/リアルタイムPCR法）

従来試薬販売中止のため同等の性能を有する同一メーカーの改良試薬に変更させていただきます。
なお、この変更に伴い、検体必要量、容器、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	5147	同左
検査項目名	HCV核酸定量 (HCV-RNA定量/リアルタイムPCR法)	同左
統一コード	5F360-1453-023-875	同左
検査材料	血清（単独検体）	同左
検体必要量	2.0mL	3.5mL
容器	B-28*	B-22
検体の保存方法	凍結（開封厳禁）	同左
所要日数	3～4	同左
検査方法	リアルタイムPCR法	同左
基準値	検出せず	同左
報告単位	L.IU/mL（Log IU/mL）	同左
報告範囲	1. 増幅反応シグナルを検出しなかった場合：検出せず 2. 1.2 L.IU/mL（定量下限値）未満で、増幅反応シグナルを検出した場合：<1.2+ 3. 測定範囲内で結果を得た場合：1.2～8.0 4. 8.0 L.IU/mL（定量上限値）を超えた場合：8.0以上	1. 増幅反応シグナルを検出しなかった場合：検出せず 2. 1.2 L.IU/mL（定量下限値）未満で、増幅反応シグナルを検出した場合：<1.2+ 3. 測定範囲内で結果を得た場合：1.2～7.8 4. 7.8 L.IU/mL（定量上限値）を超えた場合：7.8以上
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	450点／150点（微生物学的検査）	同左

*：新容器（B-28）につきましては、20ページをご参照ください。

新試薬と従来試薬の相関



自社検討資料

【参考文献】
佐々木沙耶，他：医学と薬学 70, 669-678, 2013.

● HCVの群別

測定精度の向上を期し、検査方法を変更させていただきます。
なお、この変更に伴う判定基準、報告形式等の変更はございません。

	新	従来
依頼（報告）コードNo.	2735（親） （子）2736　判定	同左
検査項目名	HCVの群別	同左
統一コード	5F360-1406-023-052	5F360-1406-023-023
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.6mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～5	同左
検査方法	CLEIA法	EIA法
判定基準	下記参照	同左
報告単位	なし	同左
報告形式	GROUP1、GROUP2、 判定保留（ホリュウ）、判定不能（不検出）	同左
報告桁数	なし	同左
検査実施料 / 判断料	240点／144点（免疫学的検査）	同左

●HCV群別（判定基準）　（報　告）

一方のグループの抗体が陽性で、他方のグループが陰性の場合	GROUP1 又は GROUP2
どちらのグループも陽性で抗体価が他方のグループの抗体価の2倍以上を示した場合、高い抗体価のグループを報告します	
どちらのグループも陽性で抗体価の比較が2倍以上とならない場合で、どちらのグループか判定できない場合	判定保留 （ホリュウ）
どちらのグループの抗体も陰性の場合	判定不能 （不検出）

		従来法				
		Gr 1	Gr 2	判定保留	判定不能	計
新法	Gr 1	104	0	2	1	107
	Gr 2	1	47	3	2	53
	判定保留	1	0	4	0	5
	判定不能	0	5	0	60	65
	計	106	52	9	63	230

判定一致率：93.5%

自社検討資料

【参考文献】

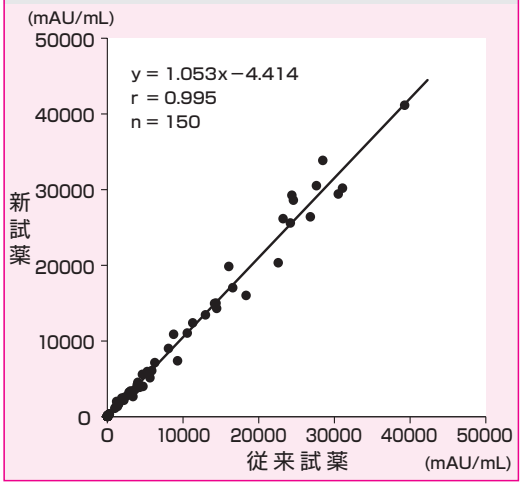
長谷川瞳，他：医学と薬学 70, 633-641, 2013.

● PIVKA-Ⅱ定量

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有し、特異性が向上した試薬に変更させていただきます。
なお、この変更に伴う検査方法、基準値、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	2910	同左
検査項目名	PIVKA-Ⅱ定量	同左
統一コード	5D520-0000-023-053	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.6mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	ECLIA法	同左
基準値	40未満	同左
報告単位	mAU/mL	同左
報告桁数	整数	同左
検査実施料 / 判断料	150点／144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左

新試薬と従来試薬の相関



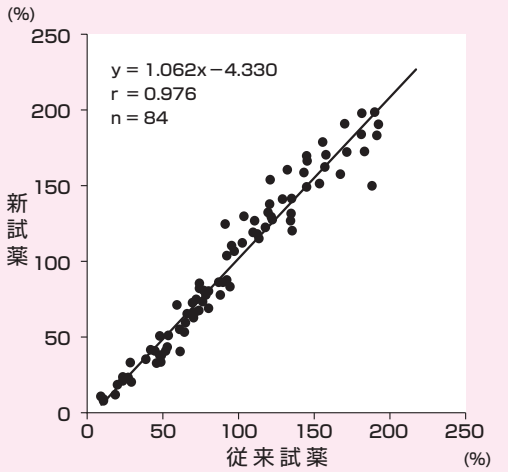
自社検討資料

● フォン・ウィルブランド因子（VWF）活性

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有する同一メーカーの改良試薬に変更させていただきます。
なお、この変更に伴う検査方法、基準値、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	3041	同左
検査項目名	フォン・ウィルブランド因子活性	同左
統一コード	2B480-0000-022-316	同左
検査材料	血漿	同左
検体必要量	0.3mL	同左
容器	B-11→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	2～5	同左
検査方法	固定血小板凝集法	同左
基準値	50～150	同左
報告単位	%	同左
報告桁数	整数	同左
検査実施料／判断料	140点／125点（血液学的検査）	同左

新試薬と従来試薬の相関



自社検討資料

● CAPシングルアレルゲン-スズメバチ

試薬メーカーより性能向上を目的とした原料の変更連絡があり、変更させていただきます。
なお、この変更に伴う検査方法、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
原　　料	毒嚢からの粗抽出アレルゲン、アンチゲン5（スズメバチrVes v 5）	毒嚢からの粗抽出アレルゲン

● スズメバチ（略称; i3）

新試薬							
6							1
5					1	1	
4				1	7		
3			4	9			
2		7	6				
1	5	3					
0	5						
クラス	0	1	2	3	4	5	6
	従来試薬						

陽性一致率：30／30=100%
陰性一致率：5／10=50%

自社検討資料

● CAPシングルアレルゲン-アシナガバチ

試薬メーカーより性能向上を目的とした原料の変更連絡があり、変更させていただきます。
なお、この変更に伴う検査方法、報告単位等の変更はございません。

	新	従来
原　　料	毒嚢からの粗抽出アレルゲン、アンチゲン5（アシナガバチrPol d 5）	毒嚢からの粗抽出アレルゲン

● アシナガバチ（略称;i4）

新試薬							
6							
5					1		
4				3	9		
3		1	2	7			
2	2	4	8				
1	1	5					
0	7						
クラス	0	1	2	3	4	5	6
	従来試薬						

陽性一致率：30／30=100%
陰性一致率：7／10=70%

自社検討資料

● 結核菌群抗原定性

従来試薬販売中止のため同等の性能を有する同一メーカーの改良試薬に変更させていただきます。
なお、この変更に伴う検査方法、基準値、報告形式等の変更はございません。

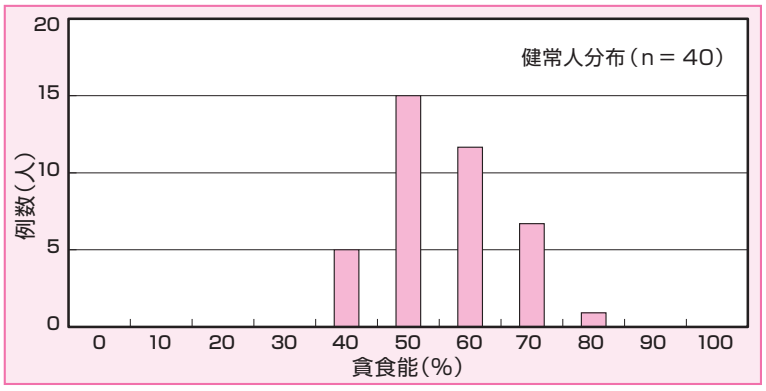
	新	従来
依頼コードNo.	6341	同左
検査項目名	結核菌群抗原定性	同左
統一コード	6B325-0000-099-190	同左
検査材料	菌株	同左
検体必要量	菌株(培地)又は生検体	同左
容器	生検体:S-P	同左
検体の保存方法	菌株:室温・生検体:冷蔵	同左
所要日数	2～3	同左
検査方法	免疫クロマト法	同左
基準値	(−)	同左
報告形式	(+)、(−)	同左
検査実施料/判断料	300点/144点(免疫学的検査)	同左

※生検体は培養を行い、培養陽性の場合に本検査を実施します。(上記所要日数には培養の日数は含んでいません。)

● 顆粒球スクリーニング検査(好中球貪食機能)

検査工程と基準値の見直しを行いました結果、基準値範囲の変更をさせていただきます。
なお、この変更に伴う報告形式等の変更はございません。

	新	従来
依頼コードNo.	4362	同左
検査項目名	顆粒球スクリーニング検査 (好中球貪食機能)	同左
統一コード	5I970-0000-019-662	同左
検査材料	血液(ヘパリン加血)	同左
検体必要量	1.0mL	同左
容器	B-6	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2～4	同左
検査方法	フローサイトメトリー法	同左
基準値	40.0～80.0%	70.0～90.0%
報告単位	%	同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	未収載	同左



自社検討資料

● HBV薬剤耐性変異解析

報告形式を変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼(報告)コード No. を変更させていただきます。

	新	従来
依頼(報告)コードNo.	12155(親) (子)21506 判定 (子)21507 L180M (子)21508 A181G (子)21509 A181S (子)21510 A181T (子)21511 A181V (子)21512 T184A (子)21513 T184C (子)21514 T184F (子)21515 T184G (子)21516 T184I (子)21517 T184L (子)21518 T184M (子)21519 T184S (子)21520 S202C (子)21521 S202G (子)21522 S202I (子)21523 M204I (子)21524 M204V (子)21525 N236T (子)21526 M250I (子)21527 M250L (子)21528 M250V	277(親) (子)589 変異判定1 (子)682 変異型1 (子)713 変異判定2 (子)992 変異型2 (子)5534 変異判定3 (子)5688 変異型3 (子)5706 変異判定4 (子)6076 変異型4 (子)7914 変異判定5 (子)7983 変異型5
報告形式	判定:「変異なし」、「変異あり」あるいは「感度以下」 各変異型:「陽性」、「弱陽性」あるいは「陰性」	変異判定:「陽性」、「弱陽性」あるいは「陰性」 変異型:検出された変異型はアミノ酸置換形式で記載、あるいは「感度以下」
備考	ウイルス量が少なく、PCR増幅が認められなかった場合は「感度以下」という判定になります。 各変異型の「弱陽性」は、ダイレクトシークエンスなどでは検知が困難な少数の変異ウイルス株の存在(およそ20%以下の存在比率)を意味します。	「弱陽性」は、ダイレクトシークエンスなどでは検知が困難な少数の変異ウイルス株の存在(およそ20%以下の存在比率)を意味します。又、ウイルス量が少なく、PCR増幅が認められなかった場合は「感度以下」と表示します。

● 基準値変更一覧

《変更日：2014年3月31日(月) 受付分より変更》

現行試薬 (体外診断用医薬品) の添付文書の記載等に準拠し、基準値を変更させていただきます。

依頼コードNo.	検査項目名	新	従来
1217	P1NP(インタクト1型プロコラーゲン-N-プロペプチド)	M(20～80才)　：19.0～83.5 F (閉経前30～44才)：17.1～64.7 F (閉経後44～83才)：21.9～79.1 (体外診断用医薬品添付文書)　μg/L	M(20～80才)　：19.0～83.5 F (閉経前30～44才)：14.9～68.8 F (閉経後45～80才)：27.0～109.3 μg/L
3046	プラスミノゲン活性	80～130％ (体外診断用医薬品添付文書)	M：69～111％ F：73～97％
343	アンチプラスミン活性	80～130% (体外診断用医薬品添付文書)	80～125%
342	アンチトロンビン活性	80～130 % (体外診断用医薬品添付文書)	75～125%
867	アンチトロンビン抗原	23.6～33.5mg/dL (金井正光 監修: 臨床検査法提要(改訂第33版), 371-373, 2010.)	17.0～30.0mg/dL

● 報告単位変更一覧

報告単位の見直しをおこない、報告単位を変更させていただきます。

依頼コードNo.	検査項目名	新	従来
448 120 449	浸透圧-血清 浸透圧-尿 浸透圧-透析液	mOsm/kgH_2O	mOsm/L

＊弊社システムの都合上、単位は mOsm/kg でご報告いたします。

● ファーマコゲノミクス検査(PGx検査)の取り扱いについて

ファーマコゲノミクス検査(PGx 検査)の取り扱いについては、「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」(日本臨床検査医学会、日本人類遺伝学会、日本臨床検査標準協議会 2012年7月2日改定)を受けて、日本衛生検査所協会の「遺伝学的検査受託に関する倫理指針」(日本衛生検査所協会 平成23年10月1日改正) においても、依頼元で匿名受付や親展報告を望まない場合は、通常の臨床検査項目に準じた対応を取ることが可能であることが示されました。

当社では、PGx 検査対象項目の受託につきましては従来の倫理指針に準拠した取り扱いをさせていただいておりましたが、今後ヒト遺伝子検査受託匿名化依頼書での受託のみから、一般的な実名での依頼書の使用も可能とします。また、親展報告の取り扱いにつきましてはご相談の上、対応させていただきます。なお、匿名化依頼書につきましてはインフォームドコンセント確認欄のご署名を省略した運用に変更させていただきます。

PGx 検査対象項目一覧

項目コード	項目名称
1844	UGT1A1*28・*6 2項目セット
2865	UGT1A1*27 (686C>A)
9216	CYP2C9 2項目セット
9217	CYP2C19 2項目セット
9227	CYP2A6 6項目セット
9222	CYP2B6 5項目セット
9223	CYP1A2 2項目セット

項目コード	項目名称
9218	NAT 3項目セット
7467	ALDH2(E487K, G1510A)
3455	MDR1(C3435T)
3456	MDR1(G2677T, A)
6517	ABCG2 遺伝子多型解析

● 骨塩定量検査

原発性骨粗鬆症の診断基準(2012年度改訂版)において男性骨密度のカットオフ値が提示されました。これに伴い、専用チャートへ男性の骨密度のカットオフ値、YAM 値の % を記載させていただきます。また、YAM 値の %、同性同年代の % については履歴を報告させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	2995	同左
検査項目名	骨塩定量検査	同左
統一コード	9Z513-0000-991-295	同左
検査材料	X線写真	同左
専用チャートの記載内容	女性骨密度のカットオフ値(第二中手骨)*	同左
	男性骨密度のカットオフ値(第二中手骨)*	なし
	女性 YAM値の%	同左
	男性 YAM値の%	なし
	YAM値の%履歴(4回分)	なし
	同性同年代の%	同左
	同性同年代の%履歴(4回分)	なし

＊：骨密度のカットオフ値

	YAMの平均･標準偏差	YAMの80%値	YAMの70%値
女性	2.864±0.247	2.291	2.005
男性	2.984±0.294	2.387	2.089

【参考資料】
日本骨代謝学会、日本骨粗鬆症学会 合同 原発性骨粗鬆症診断基準改訂検討委員会：
「原発性骨粗鬆症の診断基準（2012 年度改訂版）」Osteoporosis Japan 21, 9-21, 2013.

検査の受託中止

《最終受託日：2014年3月29日（土）受付分まで》

下記項目につきまして測定試薬販売中止、項目の統合化、受託数僅少などの理由により検査受託を中止させていただきます。
ご愛用いただきました先生方にはご迷惑をお掛けいたしますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

●代替項目あり

受託中止項目			代替項目	
依頼コードNo.	項目名	中止理由	依頼コードNo.	項目名
3314	HbA1c 併記*	国際標準化対応のため	3317	HbA1c（NGSP）
53	沈渣 - 尿	「尿沈渣検査法2010」（JCCLS GP1-P4）準拠のため	1540	尿沈渣
2291	PTH-C（副甲状腺ホルモン - C末端）	試薬販売中止のため	3999 3428	PTH-INTACT（副甲状腺ホルモン-INTACT） PTH-whole（副甲状腺ホルモン-whole）
2287	尿素呼気試験/GC-MS法（ユービット）	項目統合のため	3294	尿素呼気試験/IR法（ユービット）
4149	CD8 × CD25		51393	CD8 × CD25
5085	CD4 × CD29		51371	CD4 × CD29
5790	CD3 × CD25		51373	CD3 × CD25
6287	CD26		52316	CD26
6288	CD28		53067	CD28
6290	CD44		53617	CD44
6291	CD54		53338	CD54
6293	CD117		53620	CD117
6294	CD122		52493	CD122

*：現在、依頼コード No.2690 HbA1c(JDS) でご依頼されているご施設様には、依頼コード No.3317 HbA1c(NGSP) への変更をお願い申し上げます。

●代替項目なし

受託中止項目			関連項目	
依頼コードNo.	項目名	中止理由	依頼コードNo.	項目名
714	トキソプラズマ抗体半定量/PHA法	試薬販売中止のため	897 898	トキソプラズマ抗体 IgG トキソプラズマ抗体 IgM
4625	骨型ALP/PAGE法	検査構成試薬一部販売中止のため	6494	骨型アルカリホスファターゼ（BAP）/CLEIA 法
702	RAテスト	ガイドラインに準拠した項目への統合のため	2490	リウマトイド因子（RF）定量
292	リンパ球幼若化検査（PWM）	受託数僅少のため	290 291	リンパ球幼若化検査（PHA） リンパ球幼若化検査（Con-A）
5606	HIV-1/HIV-2抗体鑑別試験			なし
572	カロテン（カロチン）			なし
554	ACCR（アミラーゼ・クレアチニンクリアランス比）			なし
563	尿素クリアランス			なし
2225	尿酸クリアランス			なし
570	リン再吸収率試験			なし
229	リゾチーム-糞便			なし
6423	ヘリコバクター・ピロリ/PCR法			なし
5728	コレステリルエステル転送蛋白（CETP）遺伝子 Taq1B多型			なし
5675	IL-12 p40			なし
3492	可溶性ELAM-1			なし
1809	DNA抽出（少量）			なし

容器の変更

《変更日：2014年３月より順次変更》

● B-28ウイルス遺伝子検査用（血清）

HCV 核酸定量の容器変更に伴い、容器ラベルを変更させていただきます。

	新	従来
容器記号	B-28	同左
容器名	ウイルス遺伝子検査用（血清）	同左
容器容量	真空採血量　5mL	同左
貯蔵方法	室温	同左
有効期間	製造後１年	同左
内容	凝固促進剤、血清分離剤	同左
主な適用検査項目	HBV-DNA定量/リアルタイムPCR法 HCV核酸定量/リアルタイムPCR法	HBV-DNA定量/リアルタイムPCR法
容器画像		